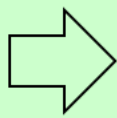


# 用水の安定確保とほ場の大区画化によるスマート農業の実践 ～農事組合法人 高野生産組合～

## 経営体の概要

ほ場整備前：平成29年  
基幹作物：水稻、大豆、飼料用米  
経営面積：69ha



現在：令和2年  
基幹作物：水稻（V溝直播栽培、輸出米を含む）  
（たまねぎ、にんにくの試験栽培）  
経営面積：72ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

当法人は、一集落一農場の農業生産法人として、平成16年に設立している。前歴及び現在実施中の国営かんがい排水事業により農業用水が安定供給され、平成29年度からの県営ほ場整備事業によって、最大4ha区画となった大区画ほ場での営農を行っている。令和元年度～2年度にはスマート農業実証プロジェクトで、ほ場の超大区画化に併せた次世代型大規模水田経営における用途別多品種米低コスト・高品質型スマート農業一貫体系の実証に取り組み、高野集落の農地を守っている。

## 営農改善のポイント

### ①省力化

ほ場整備事業で大区画化と汎用化が図られ、大型機械やスマート農業機械の導入が可能となり、水稻作業の省力化を実現した。特に、水管理は、大区画化と遠隔操作を導入したほ場では、約8割のコスト削減となった。

### ②機械・施設の導入・整備

一集落一農場の集約化されたスケールメリットを活かし、V溝12条直播播種機等の大型機械を導入した。また、令和元年度からのスマート農業実証の取組では、遠隔操作や自動での給水制御が出来る水管理システムや、食味・収量センサーが付いたコンバイン等を導入した。

### ③担い手の育成・確保

集落外出身の若者を含め3名の常勤職員を雇用し、作付計画等は常勤職員が中心となって策定している。また、草刈り等で年間延べ約1,300名を地域から臨時雇用している。



高野集落と農地の広がり  
(中央左が最も大きな4.2haほ場)



遠隔操作で水管理コスト約8割削減

## 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
関係市町：妙高市及び上越市  
受益面積：5,832ha  
事業期間：平成26年～令和5年  
事業目的：用水改良  
主要工事：ダム1箇所、用水路L=6.7km、  
水管理施設、小水力発電施設

## 位置図（新潟県）



## <問い合わせ先>

北陸農政局  
農村振興部農地整備課  
営農指導係  
電話：076-232-4725

(令和2年度調査時点)